

W降誕会/茶話会/新講中説明会 等ご報告、会費収納会/大屋根銅板記名/サマーキャンプ 等ご案内

新緑が抱く雨露の眩しさに心が踊り、少しずつ、夏を迎える準備を始めています。

4月、北インド音楽の演奏会をご縁としたご法座「なんもない夜座」が開催されました。茶話会では「タケノコを囲む会」と題し、さまざまな旬料理を楽しむとともに、お寺の蓮の植え替えも。月末には蓮華の会役員会議にて年間のあれこれが決まっています。春の除草作業は、下伍位軒・南関・川床のみなさまがご担当くださり、すっきりとした境内で5月をお迎えできました。月初には花まつり・降誕会を厳修しております(詳細は裏面参照)。例年通り、新講中・役員説明会も開催され、ご本堂大屋根改修やご懇志収納の進捗、今後の予定の確認が行われました。茶話会では、お寺にあるものを総動員し「手づくり映画鑑賞会」を開催、笑いあり涙ありの映画をお茶菓子とともにみんなで楽しみました。

これから迎える6月、大屋根工事は梅雨を目前に下地の工程が完了する見込みです。上期門徒会費収納のタイミングに合わせ、新たな屋根となる銅板の裏側に御懇志くださった方のお名前をのこすべく、日程を設けております。また、特別懇志をあげてくださった方を中心に、茶話会にて新たな天井絵の下絵を転写する機会をご案内しております。いずれも別紙にてご案内しておりますのでご確認くださいませ。その他、7月には明行寺にて元中通組御消息披露法要が勤まります。また、今年のキッズサマーキャンプは明行寺とリフレス大牟田の2ヶ所を使って1泊2日で開催いたします。初盆をお迎えになる方は、ご法事の日程確認をお忘れなきようお願い申し上げます。手狭な仮本堂、仏事のお勤めにはひと工夫ありますが、これもまた私一人のご縁。一座一座がまたとないご縁。ご一緒くださり、有難うございます。 称名



〔6～7月の行事予定〕

- 6月 7日(土) 13時半～ 元中通組蠟燭講 御消息披露法要 @浄光寺 ※どなた様もぜひお参りください
- 6月 16日(月) 10時～ 上期門徒会費収納会・第2回 大屋根改修懇志収納会 @明行寺 ※役員と講中方・該当者が対象です
- 13時半～ 門徒会役員会議・本堂大屋根改修 5社会議 ※門徒会役員が対象です
- 6月 20日(金) 14時～ お寄せスイーツ茶話会「喫茶去明行寺」vol.38 @明行寺 ※詳細別紙・お申込期限: 6/15(日)
- 7月 3日(木) 9時～ 下川東組門徒幹部研修会 @浄弘寺 ※門徒会役員・希望者が対象です
- 7月 5日(土) 13時半～ 元中通組蠟燭講 御消息披露法要 @明行寺 (おまかない担当: 北関・南関・あとさん講)
- 7月 14日(土) 8時半～ 鑽仰講座・清掃奉仕 @福岡教堂 ※蓮華の会役員が対象です
- 7月 20日(日) 13時半～ お寄せスイーツ茶話会「喫茶去明行寺」vol.39 @明行寺 ※お申込期限: 6/29(日)
- 17時～ [引き続き]キッズサマーキャンプ @リフレス大牟田 ※一泊予定です・お子さまやお孫さまと一緒にぜひ!
- 7月 21日(月) ～11時 [引き続き]キッズサマーキャンプ @リフレス大牟田 ※正午までに解散の予定です
- 7月 27日(日) 7時半～ 除草作業 (担当: 四ヶ中尾・上伍位軒) ※男性は草刈機・女性は鎌等 ご持参くださいませ

〔住職の出張予定〕 6/4・5 お取次 @源照寺(岡山市)、6/17～19 夏安居 @西念寺(山口県)、6/24・25 研修会 @西本願寺
6/27 お取次 @常寂寺(八女市)、6/28 お取次 @莊嚴寺(八女市)、6/29 お取次 @了専寺(飯塚市)

「W降誕会（お釈迦さま・宗祖親鸞聖人）」が勤修されました！

5月初旬、明行寺では仏教の開祖・お釈迦さまのお誕生をお祝いする「花まつり」と、浄土真宗のご開山・親鸞聖人の生誕をご縁としたご法座「宗祖降誕会」を、それぞれ午前と午後にお勤めする「W降誕会」が毎年行われています。

始まりは、赤山・山川中尾・四ヶ中原のみなさまによる御斎づくりから。お釈迦さまのお生まれになった姿を模したお木像に、甘茶をかけてお参りするた



めのお堂を花いっぱいにする「花御堂」づくりは、蓮華の会の役員方がご担当くださり、今年は一段と豪華な仕上がりに。午前のお勤めの後は、住職・坊守による紙芝居で、お釈迦さまの一生の物語をお聞きました。続いて、今年新たに結成された「蓮華合唱団」による、全世界仏教徒共通の讃歌「三帰依文」が、オリジナル2部合唱でこっそりお披露目されました（蓮華合唱団のデビューは8月の「第5回 明行寺音楽祭」の予定です。まだまだ一緒くださる方を大募集中！ご門徒でない方も複数いらっしゃいます。合唱は上手も下手も関係ありません。大きな声を出すのは健康にも◎。体験参加も大歓迎です）。

お昼は、目に楽しく、舌に嬉しい御斎の後、午後のお勤めです。御法座の合間の休憩には「ケン坊田中」こと田中健二さんが明行寺のめもとユニット「遇々（たまたま）」を取材に訪れ、4月にTNCで放映されたTV映像をご覧いただきながら、その遇々による手勤めのお取次。第8代宗主蓮如上人のお言葉「その箒を水につけよ、わが身をば法にひてておくべき」という、仏法を自らすくいとる（理解する）ことはできないのだから、自らを仏法に浸しておきなさい、というお示しになぞらえ、仏法（水）を音楽に

獅子身中の虫

制度が変わってもそう簡単に私たちの意識は変わってくれません。世襲制そのものより、それを生み出す固定化された古い意識が問題なのだと思います。娘に彼氏ができたとき、「養子に来てくれるかしら」とすぐに思ってしまう私がいいます。親鸞聖人はお手紙の中で、仏法を破る人は外にいるのではなく、仏法者として自負する人の中にいるのだ、としてそれを「獅子身中の虫」とたとえておられます。自分の中の虫をよくよく見つめなければ、いつの間にか食い破られてしまいます。

歌舞伎では芸が引き継がれます。仏法は何を引き継ぐのでしょうか。私たちの身近なところでも同じような意識が問われることはありませんか。本質が見失われるということはないでしょうか。

（2014年9月掲載）

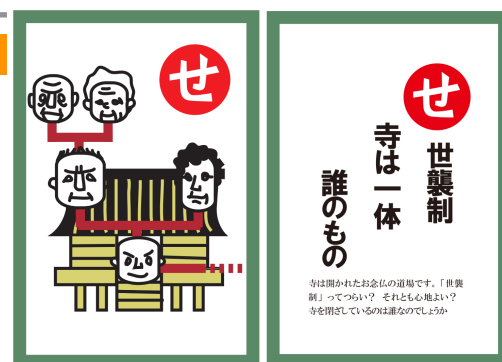
>>次号、8月の「明行寺新聞 vol.46」は、新しいトピックです！



合掌

コ
ラ
ム

「『世襲制』 寺は一体 誰のもの」・・・3/3



藤場芳子師

「女（ひと）と男（ひと）のナムアミダブツ」

1954年生まれ。真宗大谷派常讃寺副住職。解放運動推進本部「女性室」元スタッフ。同朋会館教導。真宗本廟教化教導。坊守（智美）が仏教とジェンダーについて学ばなかでご縁を賜り、ご著作から明行寺新聞のコラムに掲載している。



明行寺HP



Instagramで
お朝勤配信中
（毎朝6時半～）



う
た
う
明行寺

公式LINE



ご連絡
お問い合わせ等
お気軽に